



▲ 丈夫で使いやすい雑巾をどうぞ

小さな親切で地域に恩返しを

～町老人クラブ連合会女性部会・手作り雑巾贈呈～

6月25日(水) 町老人クラブ連合会女性部会(渡邊峯子会長)が手作りの雑巾を町内の小中学校と保育園に600枚贈呈しました。

これは同部会が『地域社会に感謝の気持ちを』という思いから、毎年この時期に行われています。

当日は同部会代表4人が中央公民館を訪問。渡邊会長が「この活動は、私たちだけでなく賛同していただいた数多くの方からの温かい気持ちが寄せられ実現しているものです。子どもたちに有意義に使っていただけたら幸いです。」と言葉を添えて、優しい表情で手作りの雑巾を各校長先生や園長先生に手渡しました。

大自然を満喫!!

～ネイチャーキャンプ in 旭～

7月5日(土)・6日(日)の2日間、町子ども会育成協議会(白木康貴会長)が、愛知県の旭高原少年自然の家でインリーダー研修会を開催しました。

この研修会には小中学生81人を含む105人が参加。自然と親しみ、集団行動やリーダーとしての資質向上、そして仲間との親睦を図ることを目的として毎年実施しています。研修を通して子どもたちは、リーダーとして一回り成長し、頼もしい表情になっていました。



結小学校5年生 さいとう あやか 齋藤 彩花さん

自然がきれいで、友達と協力できたのでよかったです。



▲ 大自然の中でカヌー体験

夏の思い出に

～牧地区・カブトムシ捕獲～

7月12日(土)、牧区長会(種田邦彦会長)が主催する『カブトムシの捕獲』が同地区内で行われ、地元の保育園児と保護者ら約40人が集まりました。

これは、同会が地域活性化を目的として、親子3代が交流する場を提供したいとの考えから、子どもの頃に誰もが1度は興味を持つ「カブトムシ」に注目して企画をしたものです。

当日は、虫かごを持った保育園児が集まり、目を輝かせながらカブトムシに触り、保護者らに「捕まえたよ!」と嬉しそうに見せている子や、目の前で元気に動くカブトムシに興味津々で見ている子など、捕獲を楽しんでいました。



▲ 楽しい夏の思い出になりました